



雲龍の
ほぐしかた

雲龍の ほぐしかた



来年の年賀状なに描こうかって
考えてたんだけど
雲龍でいいかもしない!





あの…提督…

ん？

いやなに…少しばかり緊張を
ほくしてやろうと思っただけ

わき

わき

一体どういう事でしょうか…？

お前周りの艦娘達にもそんな調子
らしいな…それじゃいつになっても
馴染めんし作戦にも支障が出るぞ？

それは…そうですが…

少し荒療治だが…俺も立場上
こーいうのを黙って見過ごす
わけにもいかんからな…

まよみは俺の
好奇心がな

で…でも…

っだーめんどくせえ!!

!?

つちお...すげ...

こんなとんでもねえの持ってたんだ...
もっとドーンと構えてりゃいいんだよ!

カッ

ッ

俺はお前の事をもっと
理解したいと思ってる!

あ、

ぐだ

ぐだ

や、

だがお前がその調子じゃ
全く前に進めない...!
かなり無茶だが今は気にすんな!

後で通報でも何でも好きに...

あ...あの...
提督は...その

そんなに私に興味が...?

ああ勿論だ!

お前がここへ来たあの日から
お前の(おっぱいの)事で頭が
いっぱいだった...!

ぐい

ぐい

夢に見るくらい
にはなあっ!!

えっ…あ…

こんな事を
やっちまうのを…

やああ!!?

あはあん

ぐお…っ

これは…思っていた
以上に凄いな…

ああ…最高だな…すぐにも
イってしまえそうだ…っ

あ

提督…これって…その
…気持ち…いいの?

そう…なの…

お前はどうか雲龍?
痛かったりしないか?

ん…平気…
だ…だけど

ゆるっ

ゆるっ

ゆるっ

ヌルヌルして…
熱くて…なのに

嫌じゃない…何だか
変な感じ…?

そうか…ならその気持ちに
そのまま身を任せてみる!

!



気持ち…私の…

あ

う…つく…
これはもう…

そろそろ出そうだ…っ
いくぞ雲龍…!!

はっ…えっ…?
いくって…あ



ふあっ…

あっ…ええっ…!?

WU
WU
ユル
WU

こんな…いっぱい…
すごいニオイ…

いえ…これでもう
いいのかしら…?

…にが

ハロッ

おお…スマンスマン…
調子に乗り過ぎたか…

バツ

いやいや…まだ
これからだな…

!?

これからって…
まだ何かするの…？

お前絶対分かってて
聞いてるだろ…ほら

ココだ…この一番熱を
もった部分を使うんだよ

んっ…

そ…そう…

随分ガツチリと守っている
みたいだが…怖いかな？

別に…あっ…

提督の好きにしたら
いいんじゃないかしら…っ

そうか

あーっ

いやまあ…
いいんだがな…
何も…うま…

それじゃ遠慮なく…
…つと…
オイオイ…

…なに？

ズル

ズル

ぬと



あん…

これなら…よし
力抜いとけよ…

…見事なまでに
トロットロだな…

にゅ

はっ

[Redacted]

ん…



ふ…ん…
はあ
あ…

にゅにゅ

うう

くまっ…
すげえな…ムチャクチャ
絡みついてくるぞ…っ

にゅ

[Redacted]

にゅ





あぁっ

やっ...

ズチュッ

ズチュッ

あん

ズチュッ



されてた...らっ
イ...っちゃ...っ

どうした...??

だってこんな...っ

あ

ズッ

はあ



はあっ

そーかよ...こんな
トロケ顔してよオ...

私はあっ...あっ
そんなんじゃ...っ

なんだ...っお前も
いきそうなのか...っ

だめ...そんな

ちがっ...

動いちゃ...

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

く…おオラツ…！
イクぞ…っ！！

だめ…
だめだめ…
だめえっ…

ビクッ

あ…あ…あ…

ああ…
ああ…

おっ
おっ
おっ

はあ…

う…ぐ…おお
すっげえ…締まって…

どほん

どほん

絞り…尽くされそうだ…

はあ



あー…

一発でコレは…
ヤバいな…



はあ…あ

はあ…

はあ



！…あ？

まあ何だかんだで途中から
ノリノリな感じだったけど…



おーいそっちは
大丈夫かー？

ぬ…



提督…熱いの…
止まらない…もっと…

はあ

もっと欲しい…

はあ

いや…待って待って…なあ
少し休んでからでも…

やだ

それに…んくっ…提督
のもまだまだ元気…っ

あ…

ん…

あ…キ…

アッ
アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ
アッ

くっ

くっ

あ

はちゃん

はちゃん

うっ…

なんだよこれ…
さっきよりも…

雲龍っ…ちよっ
落ち着けて…

あ

はちゃん

はちゃん



奥までゴリゴリって...
押し上げられてるっ...!

すっ...

あぁ

はぁ

スッ



もっとお...っ
もっと欲しいっ...

あぁ

はぁ

もっと突き上げてっ

はぁ

腔内ゴソゴソ
擦ってほしいのおっ...

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



あああああ...

うんっ...うんっ...うんっ...

うんっ...

はあ...あ...あ...



マルロクマルマル…提督！
朝になっていました…！

おう…知ってる

っーかお前は
大丈夫なのか…？



…そうね…

少しけだるい感じは
するけれど…

随分と気持ちが軽くなった
ような気がするわね…



そうか…まあ肩の力抜いときゃ
すぐに周囲にも馴染めるだろうさ

ええ…

…ねえ提督

ん？

…もう一回
しない…？

もう朝だっつってんだろ

勘弁してくれ…

あとがき

ここまでお付き合いいただきありがとうございます！
今回突発的に雲龍だったワケですが
デザイン把握と線数の多さにだいぶ苦戦しました…。
これでもまだ艦装とか殆ど削ってるんでフルで描くとどうなることやら…。

次はどうしようかなあ…
千代田単体の本とかも描いてみたいですし…
あと時津風か霞ちゃんあたりも描いてみたいんですね！
どちらもボイスで脳をやられちゃいます。
うーん…どうしょ…うーん。
来年の気分次第ですかね！
テキストで申し訳ないです。

それではまた機会があればどこかで！
お見かけの際は是非是非よろしくお願ひします！

てんらけ茶屋 あーる。

□奥付□

『雲龍のほぐしかた』

発行:てんらけ茶屋 あーる。

発行日:2014年12月29日

印刷:大陽出版さま

HP <http://www.tenloca.com/top.htm>

E-mail luliao@hotmail.co.jp

無断転載、複写等のご遠慮願います。

presented by

てんらけ茶屋

